

7.15

2010
(平成22年)■八王子市役所の代表電話
042-626-3111■ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>
モバイル(携帯電話)版 <http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/>携帯電話用
2次元コード

語り継ぐ「戦争の記憶」

昭和20年8月2日未明の「八王子空襲」。死傷者およそ2,450名、当時の市街地の約80パーセントが焼失するなど、本市は壊滅的な被害を受けました(写真は昭和20年9月の八日町交差点付近。奥住喜重さん提供)。私たちは戦争の記憶を風化させず、次世代へ伝えていかなければなりません。

まさに“地獄”でした

必死の思いで安土山(やすどやま)。現在のひよどり山付近にたどり着くと、そこは右往左往する大勢の人たちで埋まっています。暗闇の中で離れ離れになり、母を求める子を探して叫ぶ悲痛な声は、今でも耳に染み付いています。

私たち家族は身を寄せ合い、桑の木の下にうずくまりました。しばらくして、恐る恐る立ち上がりると、目の前には猛火に包まれた八王子の街が広がっていました。燃え盛る真つ赤な炎。まるで地獄を見ているよう——ただぼう然と、言葉もなく立ちつくしたあの日のことは、生涯忘れることができません。

穏やかに暮らす日々、そして一番大切な命。何をも失われてしまふ戦争なんて、もう一度と起きてほしくありません。だからこそ、体験した者として、皆さんに語り伝えていかなければと思っています。

「始ましたぞ、早く出ろ」突然父が叫びました。何を取る間もなく、外へ飛び出すと「ヒュ」「シャー」と雨のように焼夷弾が降りそいでいました。その音が恐ろしくて声も出ず、顔も足も引きつりながら、無我夢中で走りました。

渡邊マサ子さん
(万町・83歳)

7月29日から8月2日まで学園都市センター(八王子スクエアビル内)で、平和展を開催します。今号でお話していただいた渡邊さんのように、空襲などにあわれた方が当時の実体験をお話する「語り部」や、南多摩高校教諭・齊藤勉さんによる八王子空襲の講演会など、左表の催しを行います。入場は無料。申し込みは不要ですので、直接会場へお越しください。

戦争の悲惨さと平和の尊さ伝える「平和展」

平和展の催し一覧(会場:学園都市センター)

内 容	日 時
八王子空襲や原爆の惨状を伝える写真パネル、「青い目の人形(メアリー)」、小・中学生が描いたポスター、実物の地雷などの展示	7月29日~8月2日の午前10時~午後6時(2日は5時まで)
空襲や被爆体験者による「語り部」	7月29~31日、8月2日の午後1時~2時30分、午後3時~4時30分
市民グループによる空襲体験記の朗読	7月30日、8月1日の午前11時~(約1時間)
講演会「八王子空襲について」	8月1日(日)午後2時~4時30分

平和ポスター展も開催

市内の小・中学生が描いた平和をイメージした約200点のポスターを展示します。

日時 7月21~25日の午前10時~午後10時まで(25日は6時まで)

会場 イトーヨーカドー八王子店(狭間町)

問い合わせ 総務課
(042-620-7201、FAX621-1298)へ

もくじ(主な内容)

- ▶2・3…安全・安心トピックスなど
- ▶4・5…「赤ちゃん・ふらっと」のご利用をなど
- ▶6~9…催しなど
- …みんなの声
- ▶10…花火大会など